

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	当院における切除不能進行・再発胃癌に対する治療成績
意義・目的	当院における切除不能進行・再発胃癌に対する化学療法の治療成績を後方視的に検討することを目的とする。さらに、免疫チェックポイント阻害薬（ニボルマブ、ペムブロリズマブ）使用症例および75歳以上の後期高齢者症例について検討する。本研究により、化学療法のレジメンごとの治療成績などを比較することで、実臨床でのレジメン選択の目安にできる意義がある。
研究期間	当院病院長許可日（利用開始日）2026 年 7 月 2 日～2028 年 3 月 31 日
対象患者	2021 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に、当院において化学療法を導入された切除不能進行・再発胃癌患者さん
研究内容	「利用する試料・情報の項目」の情報を収集し、当院での化学療法の治療成績について検討します。個人が特定できる情報は削除した上で公表いたします。
利用する試料・情報の項目	性別、化学療法導入時の年齢、転移臓器、Performance Status (PS) * ¹ 、胃癌の組織型、HER2* ² 、microsatellite instability (MSI-high) * ³ 、CLDN18 * ⁴ 、combined positive score (CPS) * ⁵ 、治療レジメン、生存期間、無増悪生存期間、最良総合効果、有害事象等 * ¹ 日常生活や全身状態を段階評価する指標 * ² がん細胞の表面に発現しているタンパク質 * ³ 高頻度マイクロサテライト不安定性 * ⁴ 胃がん等で異常発現するタンパク質 * ⁵ 免疫チェックポイントの効果予測に用いるスコア
試料・情報の他機関への提供有無	☐ あり（ ☐ 国内 ☐ 海外） 提供方法： ☒ なし
研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 岸本 健一 共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし 試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 該当なし
本研究に関する当院の連絡先	研究責任者： 島根県立中央病院 消化器科 岸本 健一 電話：0853-22-5111（代表） 事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）

個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL： https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy
結果の公表	2028 年頃に学会発表および投稿論文として公表予定です。
備考	